ユネスコエコパークに関する住民意識調査 (2017 年) 集計

1　調査の概要

1.1　調査目的

山ノ内町は、昭和 55 年（1980 年）に志賀高原を中心にユネスコ（国連教育科学文化機関）の認定制度であるユネスコエコパークに登録され、平成 26 年（2014 年）には町のほぼ全域が拡張登録されました。

ユネスコエコパークは貴重な自然を保全しながら、持続可能な社会を実現することを目指しており、その理念の実現のためには地域住民の理解と参画が不可欠であります。そこで、ユネスコエコパークおよび地域社会に対する山ノ内町民の意識や選好を把握し、今後の志賀高原ユネスコエコパークに関する施策検討や取り組み評価の基礎資料とするため、住民意識調査を実施しました。

1.2　調査対象など

- 調査対象：山ノ内町民 1,000 名
  - 20 歳以上の山ノ内町居住者（住民基本台帳から無作為抽出）
- 調査方法：送付、回収とも郵送による
- 平成 29 年 1 月 11 日〜1 月 30 日
- 回収結果：36.7 %

1.3　結果の概要

- ユネスコエコパークの認知度は 84.7% と高く (表 8)、この制度と関連の深い『生物多様性』の認知度も 61.4% と全国 (46.4%) よりも高い水準にあり (表 11)、初期の普及は十分に進んでいると評価されます。
- 一方ユネスコエコパークの目的まで把握していたのは制度を認知していた層の半数に留まり (表 9)、学習の機会があっても参加の意向は少ない状況でした (表 10)。今後の普及にあたっては、これまでとは異なる視点で参加者にとって魅力ある仕掛けが必要であると考えられます。
- ユネスコエコパークの拡張登録は肯定的に受け止められており (表 13)、また、これに伴う様々な効果に対する期待は大きく (表 14)、今後はその実現に向けた取り組みが求められています。
- 町内の小中学校が特に精力的に取り組んでいるＥＳＤ活動への認知度は 43.1% に留まりましたが (表 15)、取り組みは 81.7% が肯定的に評価されていました (表 16)。今後は、地域の関係団体等とより連携を強化し、活動を進めていく必要があります。
- 志賀高原の魅力として、原生的な自然と雄大な自然環境を挙げる者が多く、これらが志賀高原ユネスコエコパークのシンボルとして認識されていると考えられます (図 2)。また歴史や伝統・文化に関連する事項の認知度は、スノーリゾートや温泉といった現在観光資源として利用されている事項と比べて低かったものの (図 2)、今後の活動内容においては、自然関係に次いで参加希望が多かったことから (図 3)、これらの地域資源の開発が重要であると考えられます。
- 地域協働力の基盤となる地域のつながりは強く (表 22,23)、既存の地域活動も活発で (表 19)、共同作業への積極性も高い状況でした (表 17,18)。そのため移行地域では、区等の組織と連携した地域に根ざした取り組みが有効と考えられます。

2　回答者の属性

2.1　性別・居住地区・年齢

	回答
あなたの性別をお答えください。	**1** 男性　　**2** 女性
あなたのお住まいの地区をお答えください。	**1** 志賀高原　**2** 沓野・湯ノ原　**3** 渋・横湯　**4** 金安 **5** 星川　**6** 湯田中　**7** 上条　**8** 湯河原 **9** 佐野　**10** 穂波温泉　**11** 菅・寒沢　**12** 戸狩 **13** 本郷　**14** 宇木　**15** 横倉・前坂　**16** 須賀川
あなたの年齢をお答えください。	**1** 20～29 歳　**2** 30～39 歳　**3** 40～49 歳 **4** 50～59 歳　**5** 60～69 歳　**6** 70 歳以上
あなたのご家庭に中学生以下の子どもはいらっしゃいますか。それぞれ該当するものに○をつけてください。	小学生未満（**1** いる　・　**2** いない） 小学生　（**1** いる　・　**2** いない） 中学生　（**1** いる　・　**2** いない）
あなたは、自然についてどの程度関心がありますか。	**1** 非常に関心がある　**2** ある程度関心がある **3** あまり関心がない　**4** まったく関心がない
あなたを含め、ご家庭に観光業に従事している方はいらっしゃいますか。	**1** 自分自身が従事している **2** 自分は従事していないが、家族が従事している **3** 家庭内に従事者はいない
あなたを含め、ご家庭に農業(家庭菜園を除く) に従事している方はいらっしゃいますか。	**1** 自分自身が従事している **2** 自分は従事していないが、家族が従事している **3** 家庭内に従事者はいない

表 1　性別

	人数	(%)	(%)※
1 男性	144	39.2	43.1
2 女性	190	51.8	56.9
無効	33	9.0	
合計	367	100.0	100.0

※無効回答を除いた割合（以下同じ）

表 2　居住地区

	人数	(%)	(%)※
1 志賀高原	9	2.5	2.5
2 沓野・湯ノ原	51	13.9	14.0
3 渋・横湯	13	3.5	3.6
4 金安	7	1.9	1.9
5 星川	7	1.9	1.9
6 湯田中	33	9.0	9.1
7 上条	49	13.4	13.5
8 湯河原	13	3.5	3.6
9 佐野	47	12.8	12.9
10 穂波温泉	16	4.4	4.4
11 菅・寒沢	16	4.4	4.4
12 戸狩	13	3.5	3.6
13 本郷	18	4.9	5.0
14 宇木	17	4.6	4.7
15 横倉・前坂	21	5.7	5.8
16 須賀川	33	9.0	9.1
無効	4	1.1	
合計	367	100.0	100.0

表 3　年齢層

	人数	(%)	(%)※
1 20〜29 歳	20	5.4	5.5
2 30〜39 歳	16	4.4	4.4
3 40〜49 歳	43	11.7	11.9
4 50〜59 歳	68	18.5	18.8
5 60〜69 歳	89	24.3	24.6
6 70 歳以上	126	34.3	34.8
無効	5	1.4	
合計	367	100.0	100.0

2.2　子どもの有無

問：あなたのご家庭に中学生以下の子どもはいらっしゃいますか。それぞれ該当するものに○をつけてください。

表 4　子どもの有無

	1 いる		**2** いない		合計	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
小学生未満	28	9.2	277	90.8	305	100.0
小学生	47	14.8	271	85.2	318	100.0
中学生	35	11.3	276	88.7	311	100.0
いずれかに該当	81	23.8	260	76.2	341	100.0

2.3　自然への関心

問：あなたは、自然についてどの程度関心がありますか。

表 5　自然への関心

	人数	(%)	(%)※
1 非常に関心がある	57	15.5	15.7
2 ある程度関心がある	245	66.8	67.7
3 あまり関心がない	48	13.1	13.3
4 まったく関心がない	12	3.3	3.3
無効	5	1.4	
合計	306	100.0	100.0

2.4　観光業・農業との関わり

問：あなたを含め、ご家庭に観光業に従事している方はいらっしゃいますか。

表 6　観光業との関わり

	人数	(%)	(%)※
1 自分自身が従事している	43	11.7	11.8
2 自分は従事していないが、家族が従事している	41	11.2	11.3
3 家庭内に従事者はいない	280	76.3	76.9
無効	3	0.8	
合計	306	100.0	100.0

問：あなたを含め、ご家庭に農業 (家庭菜園を除く) に従事している方はいらっしゃいますか。

表 7　農業との関わり

	人数	(%)	(%)※
1 自分自身が従事している	81	22.1	22.3
2 自分は従事していないが、家族が従事している	50	13.6	13.8
3 家庭内に従事者はいない	232	63.2	63.9
無効	4	1.1	
合計	306	100.0	100.0

3 『ユネスコエコパーク』について

3.1 国際的な自然環境保全制度の認知度

問 1 自然環境の保全を目的とした、以下の国際的な制度をご存じですか？ あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

ユネスコエコパーク ※	**1** 知っている	**2** よくは知らないが聞いたことはある
	3 聞いたこともない	**4** わからない
世界自然遺産	**1** 知っている	**2** よくは知らないが聞いたことはある
	3 聞いたこともない	**4** わからない
ジオパーク	**1** 知っている	**2** よくは知らないが聞いたことはある
	3 聞いたこともない	**4** わからない
ラムサール登録湿地	**1** 知っている	**2** よくは知らないが聞いたことはある
	3 聞いたこともない	**4** わからない

表 8 国際的制度の認知度

	エコパーク		世界自然遺産		ジオパーク		ラムサール	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
1 知っている	111	30.7	189	52.5	39	10.9	33	9.3
2 よくは知らないが聞いたことはある	195	54.0	153	42.5	165	46.2	110	31.1
3 聞いたこともない	29	8.0	4	1.1	71	19.9	100	28.2
4 わからない	26	7.2	14	3.9	82	23.0	111	31.4
合計	361	100.0	360	100.0	357	100.0	354	100.0

※ユネスコエコパークについて知っている、もしくは聞いたことがあると回答された方にうかがいます。 ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的とする取り組みです。あなたは、このユネスコエコパークの目的をご存じでしたか？ あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 知っていた　　**2** 知らなかった　　**3** わからない

表 9 ユネスコエコパークの目的

	人数	(%)	(%)
1 知っていた	141	46.1	48.5
2 知らなかった	124	40.5	42.6
3 わからない	26	8.5	8.9
無効	15	4.9	
合計	306	100.0	100.0

問2　ユネスコエコパークについて学べる機会があれば参加しますか？ あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 参加する　　**2** 参加しない　　**3** わからない

表 10　エコパークについての学習の意向

	人数	(%)	(%)
1 参加する	64	17.4	17.7
2 参加しない	121	33.0	33.5
3 わからない	176	48.0	48.8
無効	6	1.6	
合計	367	100.0	100.0

3.2　生物多様性

問3　あなたは、生物多様性を知っていますか？ あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 知っている	**2** よくは知らないが聞いたことはある
3 聞いたこともない	**4** わからない

表 11　生物多様性の認知

	人数	(%)	(%)
1 知っている	56	15.3	15.5
2 よくは知らないが聞いたことはある	166	45.2	45.9
3 聞いたこともない	61	16.6	16.9
4 わからない	79	21.5	21.8
無効	5	1.4	
合計	367	100.0	100.0

- 町内におけるユネスコエコパークの認知度は 84.7% と高く (表 8)。世界自然遺産と同程度の認知度があり、同じユネスコの認定制度であるジオパークやラムサール条約と比較しても認知度は高かった。
- ただし、その目的を理解していたのは、制度を認知していた層の半数に留まっており (表 9)、また学習の機会に対する参加意識も 17.7% と低かった (表 10)。
- ユネスコエコパークの制度と関連が深い『生物多様性』の認知度は 61.4% で、全国 (46.4%、平成 26 年度 環境問題に関する世論調査 (内閣府)) よりも高かった (表 11)。

4　志賀高原ユネスコエコパークについて

4.1　志賀高原への訪問経験

問4　あなたは、志賀高原ユネスコエコパークの中心の地域である志賀高原（国立公園の範囲）にどの程度、行ったことがありますか。（1）頻度と（2）目的を教えてください。

（1）頻度　※あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 ほぼ毎日　**2** 年 10 回以上　**3** 年に数回程度　**4** 数年に 1 回程度　**5** 行ったことがない　**6** わからない

（2）目的　※過去に経験したものについて、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1 登山・ハイキング　**2** キャンプ　**3** 自然観察（星空・動植物・紅葉など）　**4** 釣り　**5** 山菜・竹の子とり　**6** イベント・祭り　**7** サイクリング　**8** ドライブ・ツーリング　**9** スキー・スノーボード・雪遊び（スキー場）　**10** 学校の校外学習　**11** 団体等の野外活動・自然体験活動　**12** 自然環境保全活動（ABMORI、湿原再生、清掃活動など）　**13** 仕事　**14** その他（＿＿＿＿）

表 12　訪問頻度

	人数	(%)	(%)
1 ほぼ毎日	13	3.5	3.7
2 年 10 回以上	40	10.9	11.3
3 年に数回程度	142	38.7	40.0
4 数年に 1 回程度	122	33.2	34.4
5 行ったことがない	28	7.6	7.9
6 わからない	10	2.7	2.8
無効	12	3.3	
合計	367	100.0	100.0

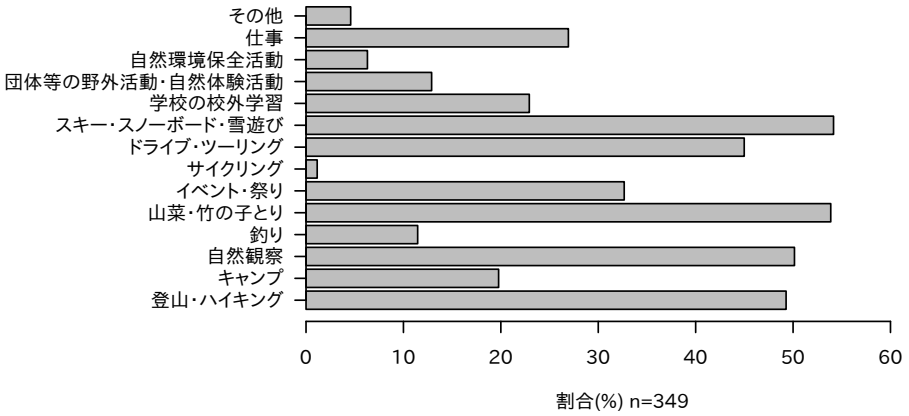


図 1　目的（複数回答）

4.2　志賀高原ユネスコエコパークの魅力

問５　あなたが思う志賀高原ユネスコエコパークの魅力は何ですか。もっともあてはまる番号に３つ○をつけてください。

1 原生的な自然（針葉樹林や池沼群など）　**2** 独特の火山地形
3 雄大な山岳景観　**4** 豊かな里地里山環境　**5** スノーリゾート
6 スノーモンキー　**7** 温泉　**8** 山の恵み（山菜・川魚など）
9 地域の歴史（ゆかりの文化人、堰の開削など）　**10** オリンピックの開催
11 農産物（果樹・キノコ・水稲など）　**12** 伝統・文化（地域の祭りなど）
13 教育活動・自然体験活動　**14** 自然環境保全活動
15 その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

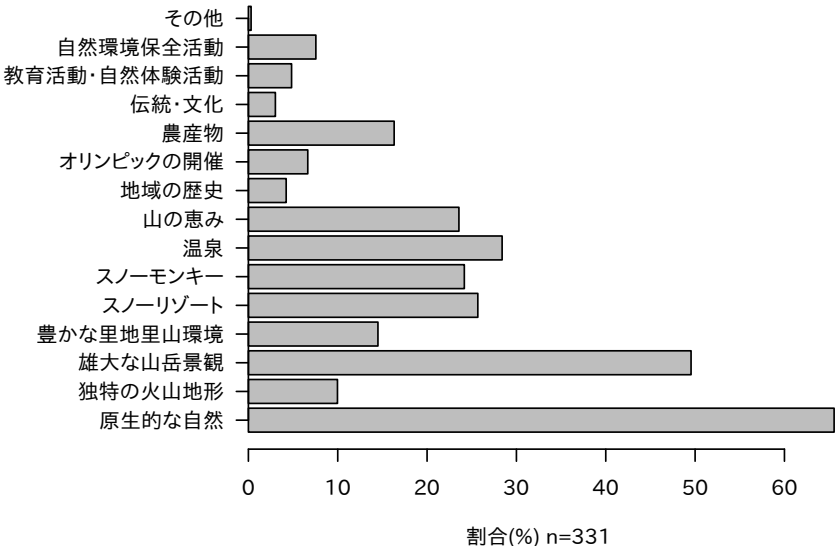


図２　志賀高原ユネスコエコパークの魅力（３つ回答）

4.3　ユネスコエコパーク登録について

問６　平成 26 年に、山ノ内町の居住地域全体がユネスコエコパークの移行地域（人が生活し、自然と調和した持続可能な発展を実現する地域）に拡張登録されました。

（１）あなたはこのことをどう感じていますか？　あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 好ましい　　**2** どちらかといえば好ましい　　**3** どちらともいえない
4 どちらかといえば好ましくない　　**5** 好ましくない　　**6** わからない

表 13　登録の評価

	人数	(%)	(%)
1 好ましい	128	34.9	35.7
2 どちらかといえば好ましい	112	30.5	31.2
3 どちらともいえない	77	21.0	21.4
4 どちらかといえば好ましくない	3	0.8	0.8
5 好ましくない	0	0.0	0.0
6 わからない	39	10.6	10.9
無効	8	2.2	
合計	367	100.0	100.0

（２）このことで、以下の効果をどの程度期待していますか？　それぞれ４段階（**1** 非常に期待する、**2** 期待する、**3** どちらかといえば期待しない、**4** 全く期待しない）で評価し、あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

	非常に期待する	期待する	どちらかといえば期待しない	全く期待しない
山ノ内町の知名度の向上	**1**	**2**	**3**	**4**
志賀高原の知名度の向上	**1**	**2**	**3**	**4**
観光業の活性化	**1**	**2**	**3**	**4**
農業の活性化	**1**	**2**	**3**	**4**
雇用の創出	**1**	**2**	**3**	**4**
人口の増加	**1**	**2**	**3**	**4**
海外との交流の活性化	**1**	**2**	**3**	**4**
道路などインフラの整備	**1**	**2**	**3**	**4**
豊かな自然環境の保全・再生	**1**	**2**	**3**	**4**
子どもたちへの質の高い教育の提供	**1**	**2**	**3**	**4**
持続可能な地域社会の実現	**1**	**2**	**3**	**4**

表 14　期待する効果

		非常に期待する	期待する	どちらかといえば期待しない	全く期待しない	有効回答
山ノ内町の知名度の向上	人数	113	183	48	13	357
	(%)	31.7	51.3	13.4	3.6	100.0
志賀高原の知名度の向上	人数	133	175	35	10	353
	(%)	37.7	49.6	9.9	2.8	100.0
観光業の活性化	人数	125	179	40	9	353
	(%)	35.4	50.7	11.3	2.5	100.0
農業の活性化	人数	89	174	63	23	349
	(%)	25.5	49.9	18.1	6.6	100.0
雇用の創出	人数	79	153	82	30	344
	(%)	23.0	44.5	23.8	8.7	100.0
人口の増加	人数	84	148	68	47	347
	(%)	24.2	42.7	19.6	13.5	100.0
海外との交流の活性化	人数	75	201	50	16	342
	(%)	21.9	58.8	14.6	4.7	100.0
道路などインフラの整備	人数	84	180	64	22	350
	(%)	24.0	51.4	18.3	6.3	100.0
豊かな自然環境の保全・再生	人数	115	195	29	8	347
	(%)	33.1	56.2	8.4	2.3	100.0
子どもたちへの質の高い教育の提供	人数	106	185	45	15	351
	(%)	30.2	52.7	12.8	4.3	100.0
持続可能な地域社会の実現	人数	80	203	49	17	349
	(%)	22.9	58.2	14.0	4.9	100.0

- 志賀高原への訪問経験は 90% 以上であり、年に数回〜数年に 1 回の訪問頻度が多かった (表 12)。目的として、登山・ハイキング、自然観察、山菜・竹の子とり、スノースポーツなどが多く挙げられていた (図 1)。
- 志賀高原の魅力として、原生的な自然と雄大な自然環境を挙げる人が半数を占め (図 2)、スノーリゾートやスノーモンキー、温泉といった現在観光資源として利用されている項目がこれについで多く挙げられた。一方、歴史や伝統・文化に関連する意見は少なかった。
- ユネスコエコパークの拡張登録を肯定的に受け止めている回答は 66.9% と多く、否定的に捉えている回答は 0.8% に留まった (表 13)。また拡張登録に伴う様々な効果に対する期待はいずれも大きかった (表 14)。

5　ＥＳＤについて

問７　町内の小中学校では、ＥＳＤの活動として果樹栽培や植樹活動を通して、環境学習や地域を知るための学習を行っていることをご存じでしたか？また、こうした取り組みについてどう思いますか。

（１）取り組みの認知　※あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 知っていた　　**2** 知らなかった　　**3** わからない

表 15　取り組みの認知

	人数	(%)	(%)
1 知っていた	156	42.5	43.1
2 知らなかった	171	46.6	47.2
3 わからない	35	9.5	9.7
無効	5	1.4	
合計	367	100.0	100.0

（２）今後の取り組み　※あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 積極的に取り組むべき　　**2** ある程度積極的に取り組むべき　　**3** どちらともいえない　　**4** あまり積極的に取り組まなくて良い　　**5** 積極的に取り組まなくて良い　　**6** わからない

表 16　今後の取り組みへの意向

	人数	(%)	(%)
1 積極的に取り組むべき	156	42.5	43.2
2 ある程度積極的に取り組むべき	139	37.9	38.5
3 どちらともいえない	29	7.9	8.0
4 あまり積極的に取り組まなくて良い	3	0.8	0.8
5 積極的に取り組まなくて良い	5	1.4	1.4
6 わからない	29	7.9	8.0
無効	6	1.6	
合計	367	100.0	100.0

- ＥＳＤ活動への認知度は 43.1% に留まったが (表 15)、取り組みに対しては 81.7% が肯定的に評価していた (表 16)。

6　地域での活動や地域のつながり

6.1　活動への参加意識

問８　ユネスコエコパークで以下のような取り組みが行われる場合、あなたは参加したいと思いますか？ あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1 自然を観察する活動（野生動植物の観察、自然景観の観賞など）
2 環境に関して学習する活動（田んぼの生き物調査など）
3 農林業などを体験する活動（田植え体験、植林、下草刈り体験など）
4 環境保全のための活動（外来種の駆除、植生の回復など）
5 歴史文化についての活動（史跡名所めぐりなど）
6 地域の生活や文化を体験する活動（そば打ち、竹細工の体験など）
7 その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
8 参加したいとは思わない
9 わからない

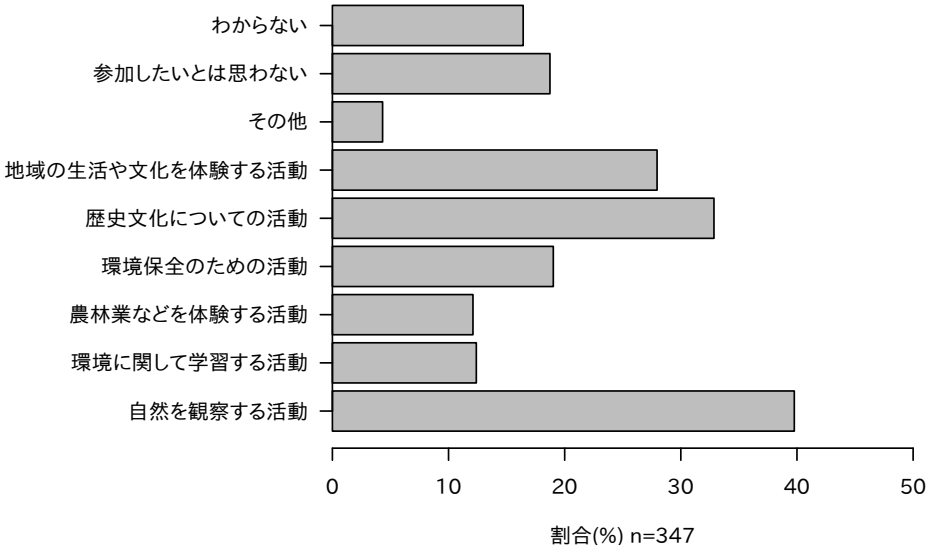


図 3　参加を希望する活動（複数回答）

問９　地区で自然環境の保全のための共同作業（草刈りやゴミ拾いなど）を行うことが計画された場合※、あなたは賛成しますか？また、参加しますか？　あなたの気持ちとしてあてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

※これは調査上の想定です。町がこのような計画をしている訳ではありません。

（１）賛成しますか？

1 賛成する	**2** できるだけ賛成する	**3** できれば賛成したくない
4 賛成しない	**5** わからない	

（２）参加しますか？

1 積極的に参加する	**2** 可能な範囲で参加する	**3** あまり参加したくない
4 参加しない	**5** わからない	

表 17　共同作業への賛成

	人数	(%)	(%)
1 賛成する	148	40.3	40.8
2 できるだけ賛成する	149	40.6	41.0
3 できれば賛成したくない	26	7.1	7.2
4 賛成しない	15	4.1	4.1
5 わからない	25	6.8	6.9
無効	4	1.1	
合計	367	100.0	100.0

表 18　共同作業への参加

	人数	(%)	(%)
1 積極的に参加する	22	6.0	6.1
2 可能な範囲で参加する	239	65.1	66.8
3 あまり参加したくない	31	8.4	8.7
4 参加しない	32	8.7	8.9
5 わからない	34	9.3	9.5
無効	9	2.5	
合計	367	100.0	100.0

問 10　あなたは以下の地域活動にどれくらい参加していますか？ あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

	参加している	時々参加している	参加していない	そのような活動がない
地区内の道路などの清掃や草刈り	**1**	**2**	**3**	**4**
河川・用水路などの清掃や維持管理	**1**	**2**	**3**	**4**
お祭りなどの伝統的行事	**1**	**2**	**3**	**4**
神社などの維持管理	**1**	**2**	**3**	**4**
神楽などの伝統文化・芸能活動	**1**	**2**	**3**	**4**
運動会やレクリエーション活動	**1**	**2**	**3**	**4**

表 19　地域活動への参加

		参加している	時々参加している	参加していない	そのような活動がない	有効回答
地区内の道路などの清掃や草刈り	人数	174	64	82	24	344
	(%)	50.6	18.6	23.8	7.0	100.0
河川・用水路などの清掃や維持管理	人数	139	58	104	40	341
	(%)	40.8	17.0	30.5	11.7	100.0
お祭りなどの伝統的行事	人数	133	106	94	9	342
	(%)	38.9	31.0	27.5	2.6	100.0
神社などの維持管理	人数	80	67	162	24	333
	(%)	24.0	20.1	48.6	7.2	100.0
神楽などの伝統文化・芸能活動	人数	35	36	217	40	328
	(%)	10.7	11.0	66.2	12.2	100.0
運動会やレクリエーション活動	人数	83	98	133	21	335
	(%)	24.8	29.3	39.7	6.3	100.0

6.2　女性・若者の参画

問 11　お住まいの地域では、女性の意見が反映されていると思いますか？ あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1 そう思う	**2** どちらかというとそう思う	**3** どちらともいえない
4 どちらかというとそう思わない	**5** そう思わない	**6** わからない

表 20　女性の意見

	人数	(%)	(%)
1 そう思う	22	6.0	6.1
2 どちらかというとそう思う	58	15.8	16.2
3 どちらともいえない	135	36.8	37.7
4 どちらかというとそう思わない	42	11.4	11.7
5 そう思わない	37	10.1	10.3
6 わからない	64	17.4	17.9
無効	9	2.5	
合計	367	100.0	100.0

問 12　お住まいの地域では、若者の意見が反映されていると思いますか？ あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1 そう思う	**2** どちらかというとそう思う	**3** どちらともいえない
4 どちらかというとそう思わない	**5** そう思わない	**6** わからない

表 21　若者の意見

	人数	(%)	(%)
1 そう思う	28	7.6	7.8
2 どちらかというとそう思う	50	13.6	13.9
3 どちらともいえない	129	35.1	35.8
4 どちらかというとそう思わない	45	12.3	12.5
5 そう思わない	45	12.3	12.5
6 わからない	63	17.2	17.5
無効	7	1.9	
合計	367	100.0	100.0

6.3　地域のつながり

問 13　あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか？ （1）と（2）についてそれぞれ、あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

（1）つきあいの程度

1 互いに相談したり、生活面などで協力しあっている人がいる
2 日常的に立ち話しをする程度のつきあいは、している
3 あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4 つきあいは全くしていない
5 わからない

表 22　つきあいの程度

	人数	(%)	(%)
1 互いに相談したり、生活面などで協力しあっている人がいる	101	27.5	28.1
2 日常的に立ち話しをする程度のつきあいは、している	166	45.2	46.1
3 あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない	85	23.2	23.6
4 つきあいは全くしていない	4	1.1	1.1
5 わからない	4	1.1	1.1
無効	7	1.9	
合計	367	100.0	100.0

（2）つきあいのある人の数

1 近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね 20 人以上）
2 ある程度の人との面識・交流がある（概ね 5〜19 人）
3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね 4 人以下）
4 隣の人がだれかも知らない
5 わからない

表 23　つきあいのある人の数

	人数	(%)	(%)
1 近所のかなり多くの人と面識・交流がある	76	20.7	20.7
2 ある程度の人との面識・交流がある	195	53.1	53.1
3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある	84	22.9	22.9
4 隣の人がだれかも知らない	3	0.8	0.8
5 わからない	9	2.5	2.5
無効	0	0.0	
合計	367	100.0	100.0

- ユネスコエコパークに関する活動に参加したいと答えた者の割合は 64.8% であった (図 3)。希望する活動では、自然を観察する活動が最も多く、歴史文化に係る活動や地域の生活や文化を体験する活動がこれに続いた。
- 地区で環境保全のための共同作業を行うことを想定したとき、このことに対し肯定的な回答の割合は 81.8% となっており、また参加するとの回答も 72.9% と、いずれも高い割合を占めていた (表 17,18)。
- 地域活動に対しても、神社などの維持管理、神楽などの伝統文化・芸能活動を除く活動以外は半数以上の者が参加している、もしくは時々参加していると回答した (表 19)。
- 女性や若者の意見が反映されているかとの問いでは、どちらとも言えないという回答が多く、肯定的、否定的な回答への偏りもなかった (表 20,21)。
- 地域のつながりでは、つきあいの程度、範囲とも積極的な回答が多かった (表 22,23)。